山梨県がん対策推進計画（第４次）ロジックモデル

○２　患者本位で持続可能ながん医療の提供

施策・アウトプット		中間アウトカム	分野アウトカム	最終アウトカム
(1) がん医療提供体制等	①医療提供体制の均てん化 がん医療提供体制の均てん化・集約化に関する検討	質の高い安心な医療の効率的な提供	診療の質の向上	がん死亡率の減少 がん生存率の向上
	②がんゲノム医療 がんゲノム医療提供体制の整備等を推進	がんゲノム医療の提供体制の維持		
	③手術療法・放射線療法・薬物療法 がん医療提供体制の均てん化・集約化に関する検討 シェアード・デシジョン・メイキングの推進	手術療法・放射線療法・薬物療法の充実		
	④チーム医療の推進 拠点病院等と地域の医療機関等の連携体制の整備 医科歯科連携によるがん患者の口腔管理の推進	多職種による相談支援環境の充実 医療スタッフ間での情報連携の充実		
	⑤がんのリハビリテーション がんのリハビリテーション研修の実施	がんリハビリテーション提供の充実		
	⑥支持療法 がん患者相談支援センター・山梨県がん患者サポートセンターの周知	治療に伴う副作用への見通しの改善	患者・家族のQOLの向上	患者及び家族の療養生活の質の向上
	⑦緩和ケアの推進 緩和ケア研修会の更なる推進 緩和ケアに関する正しい知識の普及啓発	緩和ケアの質の向上		
	⑧妊孕性温存療法 妊孕性温存療法の提供体制整備	がん患者・家族が生殖機能への影響についての情報提供を受け、納得できる意思決定ができること		
(2) 希少がん及び難治性がん対策	医療機関間の連携体制の整備	希少がん患者の診療情報へのアクセスの拡充 速やかな医療の提供		
(3) 小児・AYA世代のがん対策	小児・AYA世代のがん医療の連携促進	生殖機能への影響についての適切な情報提供		
(4) 高齢者のがん対策	高齢のがん患者やその家族等の意思決定支援の推進	質の高い安心な医療の効率的な提供		